

第83回岐阜大学経営協議会 議事要旨

- 1 日時 平成29年10月31日(火) 13時00分～15時10分
- 2 場所 岐阜大学本部大会議室
- 3 出席者 森脇(議長), 伊藤, 稲垣, 碓井, 岡本, 佐々木, 重森, 細江, 村瀬, 江馬, 福士, 鈴木, 横山, 小倉, 林, 王の各委員
オブザーバー:
池谷教育学部長, 和佐田地域科学部長, 湊口医学系研究科長,
野々村工学部長, 光永応用生物科学部副学部長(代理), 吉田監事,
片桐監事

4 議事要旨の確認について

第82回の経営協議会議事要旨(案)を原案どおり確認した。

5 審議事項

(1) 人事院勧告を踏まえた対応について

横山委員から、資料5に基づき、国家公務員の給与に関する人事院勧告について、民間給与との較差に基づく給与改定及び給与制度の総合的見直しについて説明があった。次に、資料1に基づき、今回の人事院勧告を踏まえた本学の対応について、特に①管理職手当の見直し②役員給与の見直しについて説明があり、審議の結果、了承された。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

- 管理職手当を引き下げると、残業の多い一般職員との給与が、逆転するという事態が生じることにならないか。
- 可能性はあるが、現在働き方の見直しを行っており、その中で今後、超過勤務手当についても総合的に改革していく。
- 人事承認待ちについて、要求と査定の違いが大きい、支障は生じないか。今後の見通しを教えてください。
- 現在の状況を踏まえ、各部署長と話し合い、実態を確認し、必要性を考慮した上で人事承認をしていく。
- 次年度以降は、人事院勧告の完全実施がむづかしい状況になると思うが、その中で、今回の対応は身を切る改革をするという意味表示と受け止めることができる。しかし、今後は完全実施できないケースもありうるということを考慮して、働き方改革を積極的に検討してほしい。
- 人事院勧告について、今後どう対応していくのか、様子を見ながら検討していきたい。

6 報告事項

(1) 経営/マネジメント教育部門の立ち上げについて

江馬委員から、追加資料に基づき、平成32年4月に立ち上げ予定の総合経営学部(仮称)について、立ち上げに至る経緯、学部の概要等及び今後の見通しについて説明があった。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

- 現在の地域科学部を改組するのか，新たに学部を作るのか。
- 新たに学部を作る方向で進めている。各学部から学生定員を少しずつ拠出してもらう予定であるため，大学全体の学生定員は変わらない。
- 総合経営学部（仮称）を作ることは賛成である。学際領域を考慮した上で，学部名を検討してもらいたい。
- 特徴がわかるような名称を検討していきたい。
- 社会においては，「リーダーシップ」，「マネジメント力」，「データの活用」，「地域との関わり」が問われているところであるため，新しい学部を期待している。地域科学部との関わりも含めて，バランスを考慮し編成を進めてもらいたい。
- この学部ができることを楽しみにしているし、とても期待している。中小企業の次世代の経営者が入りたくなるような学部にしてほしい。
- 一学部，一学科か。
- 現在は一学部一学科，定員70名を考えている。
- カリキュラムの上で，地域科学部と重複しないよう整理する必要があるのではないか。
- マネジメント力を付けた地域のリーダー，産業のリーダーの育成が大切であり，新しい学部の設置には賛成である。この新しい学部を卒業した学生が，中部地域で活躍してもらえよう環境づくりも課題である。大学には，中部地域で活躍し，光るような自信を持った学生の育成を期待したい。
- 地元の産業界の方にも入ってもらい，カリキュラムの検討をしていく予定である。

(2) 平成28年度計画実施状況の点検及び評価に係る報告書について

土山総合企画部長から，資料2に基づき，担当理事，副学長及び各部局による自己点検評価結果を評価室において検証し，本学としての平成28年度計画の実施状況や優れた取組，課題などを整理した結果，全ての年度計画において，「年度計画を上回って達成した」又は「年度計画を達成した」と判断したことについて説明があった。また，特徴のある取り組みについて，紹介があった。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

- 教養教育について，リベラルアーツの必要性が問われているところであるが，岐阜大学におけるリベラルアーツへの対応を教えてほしい。
- 組織として，ある程度対応できていると考えている。グローバル化についても，英語教育に力を入れているところである。
- 知識や技能をどう活用していくのかと言う，活用能力が重要であるため，その点に力を入れていく必要があると思われる。一般的に各科目のねらいを明確にする部分が，不足していると思われるので，その部分を，教養教育の在り方という観点から検討してほしい。
- 在学中はもちろん卒業後も含め，ものの見方や考え方を教育することが重要であると考えている。また，理系では修士課程まで進む学生が6割以

上であるため、本学の自然科学技術研究科の一部では、リベラルアーツを進めているところである。

(3) 機能強化に向けた主な取組状況について

土山総合企画部長から、資料3に基づき、機能強化に向けた主な取組状況について、組織整備の状況(共同獣医学研究科の設置(連合獣医学研究科の解消)、国際連携専攻(JD)4専攻の設置、工学研究科博士課程の改組)及び新規公募事業等の採択状況について報告があった。

(4) 平成28年度岐阜大学国際交流について

鈴木委員から、資料4に基づき、グローバル推進本部が発行した、「岐阜大学国際交流年俵2016」及び「岐阜大学国際交流 NEWS Letter」それぞれ日本語版、英語版の紹介があり、国際関係の活動について説明があった。

(5) 国家公務員の給与に関する勧告(人事院勧告)について

審議事項1にて、説明済み。

(6) 平成29年度教育職員関門評価について

横山委員から、資料6に基づき、今年度の教育職員関門評価結果について報告があり、評価対象者数、評価結果について説明があった。

(7) 平成28事業年度財務諸表の承認について

横山委員から、資料7に基づき、6月23日(金)開催の本会議及び6月29日(木)開催の第574回役員会において承認の上、文部科学省に提出した「平成28事業年度財務諸表」の承認が通知された旨の報告があった。

(8) 平成28年度決算に基づく財務分析について

横山委員から、資料8に基づき、財務諸表を基にした財務分析指標を同規模国立大学と比較した財務分析(レーダーチャート)及び財務レポート2017について、概要説明があった。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

○ 一般管理費率が高いのは、何か特別な要因があるのか。

● 特別な要因はないが、光熱水費など削減できる部分があるので、努力していきたい。

(9) 平成30年度概算要求について

横山委員から、資料9に基づき、平成30年度概算要求について、運営費交付金概算要求額算定の考え方<要約>に基づく、本学の要求状況の説明があった。また、施設整備費概算要求事項についても説明があった。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

○ 地方創生エネルギーシステム研究センターの概要について教えてほしい。

● 次世代エネルギー研究センターを組織改組し、地域に根差したエネルギ

ーシステムをより一層進めるためのものである。現在3つある部門にエネルギーマネジメント関わる部門を加え、マネジメントを強化し研究成果の社会実装を実現するものである。

(10) 医学部附属病院の経営状況について

小倉委員から、資料10に基づき、医学部附属病院の平成28年度経営目標達成率について、損益計算書及び収支計算書に基づき報告があった。

(11) 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の成果と課題について

林委員から、資料11に基づき、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」について、女性研究者の採用比率・在職比率・上位職比率，女性研究者の研究力向上のための取組，女性研究者の上位職への積極的登用に向けた取組，及び意識啓発のための取組等について報告があった。

8 次回の開催日

次回の開催は3月を予定している旨の説明があった。